

令和元年12月25日  
伊那市地方創生総合戦略審議会

1 「関係人口」とは

「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉です。

地方圏は、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面していますが、地域によっては若者を中心に、変化を生み出す人材が地域に入り始めており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されています。

長野県では関係人口を「信州との関わりを持つ「つながり人口」」と名付け、県の総合計画「しあわせ信州創造プラン2.0」の重点施策として取り組んでいます。



(総務省ホームページより)

2 伊那市の取り組みについて

(1) 農事組合法人田原と連携した農業体験会

農政課と共同で都市住民と地域のひととの交流や農業をやる体験会を春、秋と開催し、新宿区を中心とした都市住民が訪れるきっかけとなっている。

(2) 地域おこし協力隊の導入

来年度4月から委嘱予定の地域おこし協力隊として「つながり人口創出コーディネータ」を募集中(2月3日締め切り)。地域の仕事を通じた若者の関係人口化に取り組む予定。